



穂別恐竜化石発掘 2013 年報告③



化石の回収が進んだ頃。化石の無い部分を削り、化石に石こうジャケットをかぶせながら作業を進めました。(9/28)



今回の発掘で主要な部分を回収し終えたころ(10/2)



今回の発掘で採りきれなかった部分は、補強して埋めました。(10/5)



今回の発掘で回収した恐竜化石と共産化石。手前が回収した石こうジャケット。奥にある灰色のプラスチックの箱にも回収した化石が入っている。

今回の発掘は、10月初旬までを予定していましたので、9月20日ごろからは、表面を露出させた骨化石とノジュールの回収を進めました。骨の入っていない部分を削り、ジャケットを制作しながら化石の回収をすすめました。骨を露出させたものの、回収できなかった部分についてはジャケットで補強し、埋め戻しました。これらについては、来年度(今年)に改めて回収する予定です。

今回の発掘で、幸運にも全身骨格が埋没していることがほぼ明らかになってきましたが、回収できたのは全身の3割ほどでした。骨格の残りについては今後2-3年かけて発掘を進めていく予定です。

(学芸員 西村智弘)

2013年の調査研究などでの利用 (恐竜発掘関係を除く)

林昭次先生 (5/10)
(大阪市立自然史博物館
学芸員)



古脊椎動物の骨組織の観察をされました。

重田康成先生 (6/3)
(国立科学博物館
研究主幹)



白亜紀の地層から年代測定用の岩石を採集されました。

安藤匠平氏 (6/29、7/19)
(北海道大学 学部生)



翼竜研究のため、当館所蔵の遠別産標本の観察を行いました。

ゲンナジー・マチュシュコフ先生 (7/19)
(サハリン州立郷土博物館 副館長)



(写真右)
サハリン州立郷土博物館の展示リニューアルの参考にするために来館されました。

平山廉先生 (7/28)
(早稲田大学 教授)



2011年以降に収集したカメ化石の観察をされました。新たに収集したものにも貴重な標本が含まれているとのことでした。

松井久美子氏 (9/1)
(京都大学 博士課程前期学生)



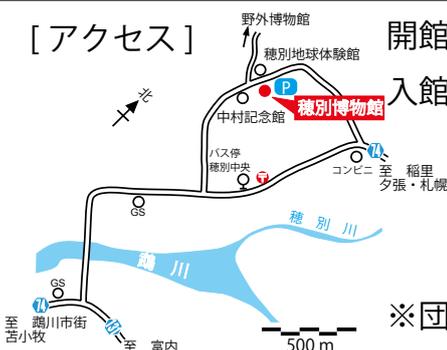
新生代哺乳類デスマスチルスと共産化石の観察をされました。

調査の協力



佐藤たまき先生 (東京学芸大学 准教授、写真右) と吉村健氏 (同学部生、写真左) による小平町達布地域でのクビナガリュウ化石産地の地質調査 (8/26~30) に、この地域の地質に詳しい西村学芸員が同行しました。

[アクセス]



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

入館料 個人 / 小~高校生: 100円
大人 300円
団体 / 小~高校生: 50円
大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

1月 休館日

1 (水) ~ 6 (月)
14 (火) 15 (水)
20 (月) 27 (月)

2月

3 (月) 10 (月)
12 (水) 17 (月)
24 (月)

町民入館無料日

(特定入館日)

1月13日 (月・祝)